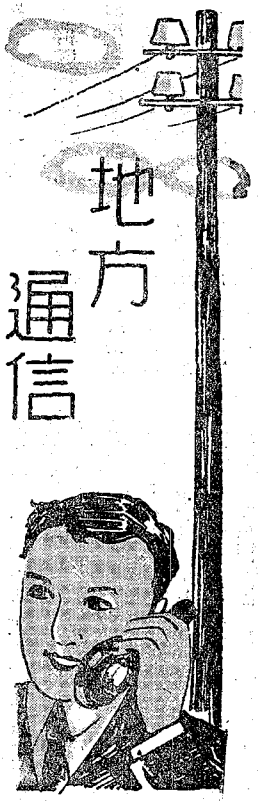

東北地方

松鹽道路の新名所

宮城縣下松島鹽釜間の松鹽觀光道路の開通も目睫に迫つたが沿道の奇勝佳景には名稱なき所もあるので宣傳上不便を感じ新名所の命名を德富蘇峰氏に依頼したる所、此程、奇勝馬の背は「臥龍岬」庵圍内には「奇勝臺」「雙奇梁又は峽」「瑞鳳園」濱田と須賀の間の浦を「鐘美浦」と命名したと同氏より回報があつたので縣では此名稱に依つて紹介することとなつた。

秋田縣米內澤橋の竣工

秋田縣南横手の蛇の目橋に對する縣北唯一の縣橋米內澤橋は北秋田郡米內澤町縣道大阿仁川に架する縣橋で昨年五月起工した長百三十二・八米幅五・五米橋脚六基で總工費八萬六千五百圓である、工事中八回も出水し難工を感ぜしめられたが寒中施工を繼續し得たることなど天祐とも思はるゝ事業であつた、阿仁部地方民熱望の的であつた關係があるので開通式擧行當日の五月三十日は同地方未曾有の賑であつた、此架橋に依つて同地方の産業開發上一紀元を劃する事となつた。

關東地方

茨城縣下二橋の落成

茨城縣眞壁郡上野村と瞻波、江村間を結ぶ小貝川舊橋は洪水あると忽ち交通杜絶となつて不便を感ずること久しかりしが今回長百五十米、幅五・五米の鐵筋コンクリートT桁型の一橋が總工費五萬六千圓を投じて施工中であつたが此程竣工した、又北相馬郡小文間村と文村間の小貝川橋も工費三萬二千圓を投じ施工中であつたが延長九十一間幅二間半の木橋として架設せられ之が爲めに取手と龍ケ崎とは其交通路を一里餘短縮することとなつた。

群馬縣前橋市桃井橋の完工

群馬縣前橋市內堂町と芳町とを隔つる廣瀨川に桃井橋が架設せられ六月十一日完工した純日本式コンクリート橋で工費は四千圓を費したものである。

群馬縣下道路橋梁の改修

群馬縣當局では昭和十年度事業費七十二萬圓の道路改良計劃として遊覽地開發、自動車道路の整備を眼目とし十一萬二千圓で

左記の計畫を實現することゝなつた今宿橋外七橋梁の改築、三市五ケ町の道路鋪裝工事、赤城山縣立公園を中心とする上毛三山聯絡道路第一期改修計畫、省營バス第二期道路計畫、國立公園自動車道路計畫等である。

群馬縣內の道路愛護運動

群馬縣當局では道路愛護運動と其奬勵規程の設定、修路工夫規程の改正等に關し努むる所があるが道路愛護運動としては縣下各町村に在鄉軍人分會、青年團、消防組、戶主會、小學校等を中心に道路愛護會を組織させ路面の保護、交通障害物の整理等を行はせその成績を調査して縣道路愛護審査會で最も優秀な團體から五等までに賞金を授與する計畫である。

群馬縣下地藏峠の改修

群馬縣では產業開發道路として縣道松井田、中三條線の改修計畫とに調査を遂げたる所碓氷郡鳥淵村と細野村間地藏峠の前後が最も悪いことが判つたので鳥淵村相間と細野村三輪久保の兩方面から改修に着手する豫定で工費約六萬圓で施工、完成すれば鳥淵、倉田、吾妻郡坂上村方面の物資が松井田方面に自動車で搬出されるであらう。

第二京濱國道期成會の成立

東京橫濱間の交通激增の對策は之が促進を圖らなければならぬことは內務省東京土木出張所で調査したる（「京濱國道の行詰」）所でも明かなことであるが頃日關係官公衙首腦者諸氏が集合して第二京濱國道期成會を組織し該事業の促進を運動することゝなつた。

今ぞ花咲く道路監守

神奈川縣下の國府縣道の修繕を常時行つて居る道路監守は百三十六名あつてその中には二、三十年の永年勤續者が多いが精神的にも物質的にも至つて惠まれないので縣では十年度に道路監守表彰に關する內規を制定し今後每年永年勤續者の表彰を行ふことになりその第一回表彰式を近く縣廳で擧行、表彰者は約十名に上るはず。なほ永年勤續者は三十年以上が三名、二十五年以上が七名、二十年以上が十五名十五年以上が十二名、十年以上が三十三名に上つてゐる。

北陸地方

石川縣々道改修の續行

縣道、深谷富來線中の羽咋郡西浦村鹿頭から鳳至郡深谷に通ずる縣道改修工事は昭和五年度から每年繼續事業としてきたが昨今に至り既に完成近いまでにおよび、今年度も約三千五百圓を投じて引續き施工、鳳至郡側の縣道に接續することゝなり兩郡關係民は非常に喜んでゐるが、これが完成によつて、名勝「關野海岸」古刹「總持寺別院」などが世に出るほか地方物產開發上の利益は莫大なものといはれてゐる。

東山地方

長野縣宮川橋の起工

長野縣諏訪郡宮川村茅野の宮川橋は經費四萬圓を投じ幅員六メートル延長六十七メ

Fトルの鐵筋コンクリートによるモダーンなゲルバー式により新設される事に決定、二十三日現場で盛大な起工式を擧行した、この工事材料は負擔して小口組請負となり工事豫定は五ケ月間で八月末には完工のはず。

東海地方

靜岡縣下の觀光道路

濱松市の西部高地方面から西方の入野、富塚村一帶は今回新に風致區域に指定せられた關係から濱松市では將來を見透し佐鳴湖に通ずる觀光道路の築造を企て新國道としての實現を期する。百年前本居宣長の門人竹村廣陰が命名したと傳へられてゐる佐鳴湖八景は大屋橋の夕照、北浦の歸帆、小林山の秋月、西湖山の晩鐘、犬山の夜雨、大良の暮雪、太田の落雁、三ツ山の晴嵐と云ふことである。

豐橋市の偉觀花田跨線橋

豐橋市都市計畫第一期事業によつて架設した省線跨線橋の橋名も二十幾つかの公募から選擇中であつたがいよ〳〵地元の名をとつて結局「花田跨線橋」と命名するに決した、この跨線橋は長さ八十二尺、幅員六十六尺の殆ど復四角なもので、地面は全部厚さ二インチのアスファルト、ブロック張り、幅員中四十八尺が車道、その兩側は八尺五寸づつの人道に分れてゐる、親柱は全部白御影で高さ七尺、幅四尺、その中に赤御影の橋名板を挿入し親柱の上部には流線型の飾り電燈が煌々と點ぜられるやうになり、また中間の欄もやはり御影石、間柱は全部コンクリートの磨出しである橋名板には「花田跨線橋」と五文字を右側に、左側に「昭和十年六月竣工」と刻み、いづれも神戸市長が二十三日夜自宅で揮毫をもつて手つとり早いことに揮毫した、この親柱は南北とも同一字體である。

豐公、萱津の二橋の渡橋式擧行

愛知縣尾張西部各町と大名古屋とを結ぶ縣道稻澤申村線の庄内川に架る豐公橋と新川に架る萱津橋の竣工式ならびに渡り初め式は新緑爽かな八日午前十時から同東橋畔で盛大に擧行せられた。

生れ出づるモダーン東海道

愛知縣縣營の國道東海道線の改修および鋪裝は名古屋から漸次東へ〳〵と延び去る三月以來は岡崎市外矢作町字宇頭—碧海郡上郷村間十餘町を施工中のところこのほど殆ど完成した、舊道路は擴張された上鏡のアスファルト鋪裝に飾られて車道專用路の特別區間も出來て昔の東海道は昭和のモダン色に滿ち面目をまさに一新した、なほこの完成をもつて名古屋、矢作間約十里の長路線は殆ど全區間が更新される。

近畿地方

滋賀縣下湖岸道路竣工式

大溝南船木線湖岸道路大溝本庄間の竣工式は五月二十五日加茂川橋南詰で盛大に擧行せられた、この工事は昭和七年度より三ケ年間農村振興土木事業および一部風水害對策應急土木事業をもつて大溝、本庄の各

町村直營によりで延長一里四町十八間、幅員二間半うち橋梁は加茂川ほか十一ケ所で總工費二萬八千百五十二圓を以て農閑の冬季を利用し施工したものである。

滋賀縣下大津市道の改修

大津市山中皇子山間市道は山中縣道を起點に延長八百間が竣工して二十四日竣工檢査を終へたので近く殘餘の八百間の改修工事に着手することゝなつた、同道路は幅員は一間半にすぎないが縣道が京都白川より膏大津まで二里八町の道のりであつたが、この市道の完成の曉は實に二十四町を短縮して一里二十町となり、歩行者は非常な便宜を受ける事になる、また同沿線は觀光道路につづく勝景に惠まれ觀光道路としても好適であり本年度内に全く竣工の豫定である

京都府下鮎の名所大堰橋の竣工

京都府下で鮎の名勝大堰川の上流周山街道八木町大堰橋は十萬五千圓の工費を以て架工したが最新ゲルバー式鋼構橋の新裝も美々しく竣工したので六月七日八木町富本村とで大祝賀會を擧行した、橋の總延長二百十一米有効幅員五・五〇米、水面上百十米である、そも〳〵この大堰橋は明治二十七年初めて八木、富本兩町村を結びつけたが、それまでは渡船で通つてゐた、それが明治二十九年八月と九月の水害で百十三メートルにわたる落橋で三十四年に假橋が出來たがこれがまた三十九年の水害に流失して四十二年に架橋され、數次の改修補强でからくも交通の道を達してゐたがいよ〳〵昭和九年二月架替工事に着手、今回めでたく新裝なり落成すに至つたもので明治三十九年の最大增水よりなほ一メートル五十の高さを有し、地方民が增水毎に憂慮した交通の危險も除去されたわけである。

大阪北攝の二新道路施工

一つは府縣道福住池田線のうち西能勢村大字下田を走る延長五一二メートル、幅員六メートルで工費一萬一千圓、九月末までには完成する。

いま一つは府縣道池田妙見線のうち東能勢村野間口の狹隘箇所三七〇メートルを幅員六・五〇メートルに改修するもので竣工は八月末、本年中に完成する妙見福住線と相まつてケーブル東方を廻つて能勢妙見の絶好のドライヴ・ウエイをつくるわけだ。

和歌山縣下麻生橋の開通

みかんの産地飯盛山麓と國道大和街道を結び付け紀の川の清洌上に其威容を浮べ出した麻生橋は五月二十九日花々しく開通式を擧行した、各方面からの祝詞もあつたが二十六年間架橋促進運動に終始一貫した老義士東吉衛門翁の涙ぐましき懷舊談には參列者の注意を惹いた。

和歌山泉郷の湯崎トンネル

泉郷の新名所白濱と湯崎とをつなぐ湯崎トンネルは工費一萬二千八百圓をもつて施工した東口の額は「天地清明」と明治神宮々司有馬大將西口の額は「湯崎トンネル」と藤岡知事の揮毫に成つて居る。

日高川の福井橋落成

和歌山縣下日高川筋に一偉觀を呈するに至つた日高郡下山路村の福井橋は工費二萬三百圓で延長七十五米幅員四米ワトレン型

トラス一連鐵筋コンクリート丁型桁四連山間地方にはモダーンな橋梁である。

中國地方

岡山縣下藤原橋の渡り初め

岡山縣久米郡吉岡村と勝田郡飯岡村をつなぐ吉井川に新しく架橋した津山和氣線縣道藤原橋は今回竣工したので渡り初め式が擧行せられた、新橋は延長百三十五米幅員五・五〇米で工費四萬六千圓である。

岡山縣下觀音橋の竣工

岡山縣小田郡北川村と小田町を結ぶ小田川の觀音橋は縣で總工費八萬千圓を投じ昨年六月から架替へ工事中のところ今回竣工、六月九日午前十時から竣工式を擧行したが、新觀音橋は幅員五・五〇メートル、延長百六十メートルのモダン橋である。

島根、廣島兩縣をつなぐ中三坂峠隧道の開鑿着工

島根縣邑智郡田所村から廣島縣新庄町に通ずる島根縣道溫泉津可部線の嶮中三坂峠のトンネル開鑿については廣島、島根兩縣の共同工事として工事費二十一萬五千圓で起工すべく兩縣土木當局で折衝を續けてをり過般島根縣から崎田經濟部長、高良土木技師らが打合せのため廣島縣廳を訪問したが廣島縣側としては工事費折半で着工を計畫してをるのに對し島根縣では四分六分宛の負擔を希望してゐるため纏らなかつたが近く長谷川廣島縣土木部長が赴き再度打合せの上本決りを見るはずで、着工は今秋ごろの豫定であるが自動車による陰陽聯絡はこれの開鑿で至便をうけるわけである。

四國地方

德島縣道の改修促進

德島市と小松島町とを結ぶ縣道德島小松島線は產業道路と銘打つた丈けに幅員實に六間の大道であるが開通以來其交通量增加して路面の損傷意外に甚しくなつたのではやくも改修促進の聲が高くなつた、當局でも苦心對策研究中である。

香川縣國道府縣道の改修工事

香川縣より申請した國道並府縣道改修工事は左の如く認可せられた。

國道及び府縣道　國道二十三號線
自綾歌郡端岡村至同郡府中村、延長十八百二十五メートル、幅員十メートル、工費六萬七百七十五圓△府縣道高松琴平線
自仲多度郡高篦村至同郡四條村、延長千百十一メートル、幅員六メートル五十、工費九萬七千四百二十九圓
府縣道　高松琴平線、高松脇町線
自高松市栗林町至香川郡鶯田、延長千六メートル、幅員九メートル、工費九萬二千五百八十三圓

香川縣栗林、鶯田間縣道の擴築

四國の玄關口高松と金比羅宮のお膝元琴平町を繋ぐ指定縣道高松琴平線三十キロの全線改良工事の完成は金比羅參詣ドライヴウェーとして沿線民の待望も久しいが同路線の內仲多度郡高篦、四條兩村に跨がる

土器川の祕川橋（延長二百十七メートル、幅員七メートル二）も縣直營工事により鐵筋コンクリートのモダーン橋に架け替工事中のところ今回高松市栗林町から鷲田村へ跨がる延長千六メートルを縣直營工事として工事費九萬一千三百三十圓を投じ幅員九メートルに改修することに決し來る二十日着工し明春三月竣工するがこれにより全線中殘る未改修地點は川岡村地内の千六百メートルのみとなり坦々たるドライヴウエーの完成は今一息である。

愛媛縣下宇和島宿毛線の開通

愛媛高知聯絡道路宇和島宿毛線は三十年振りで漸く開通を見るに至つた、宇和島、宿毛線の工事に着手したのは隨分古い話で明治初年であつた、その後次第に工事は進行し宇和島から南宇和郡城邊町まで開通したのは明治三十九年で今を去る三十年前の昔である、ところが翌四十年から大正十年までの間は關係地方民の熱望も空しく工事は中止されてゐたがその後大正十一年に至りやつと南宇和郡一本松村の入口まで完成、今一息で縣境に至るといふときまた〳〵五ケ年間工事休止の憂目に遭ひ昭和三年から再びやりはじめ五ケ年を費して漸く愛媛縣の分は出來上つた、一方高知縣側は昭和五年までに宿毛町より幡多郡和田村まで出來たがその後工事休止の止むなきに至つたので南豫と西高知の地方民は何とかして一日も早く全通させようと宇和島、宿毛線速成期成同盟會を組織し兩縣當局へ陳情を重ねた、その結果高知縣では昨年度の事業として和田村より縣境まで一千四百メートルの工事に着手し縣境を流れる篠川の架橋は兩縣で工費を分擔して鋭意完成を急いでゐたが、このほど漸く出來上り兩縣民多年の宿望は遂に達成されて二十五日から開通を見るに至つた、この路線は單に豫土聯絡といふばかりではなく四國循環幹線道路の一部でこの路線の全通によつてさきに完成した高知縣甲の浦線德島縣八坂八濱戰と相まつて完全に聯絡出來、自動車による四國一周もはじめて可能となつた譯である。

高知縣鷲尾山頂上へドライブウエー

高知市の大計畫たる潮江山麓の公園計畫は着々進んで五十メートルプールも近く工事に着手されることゝなつたがこれに並行して鷲尾山ドライヴウエイの開鑿計畫が具體化せんとしてゐる、右は從來久しき間の懸案で遊覽客誘致の喧しい折柄有望視されてゐるが工費約六萬圓で明年度より二、三年計畫で失業應急事業として着手する腹案で幅員九尺、新しく出來る散田橋より公園計畫地を經て潮江山を縱走、鷲尾山頂に至るもので東北は市を隔てゝ番長平野を、南は浦戸灣太平洋の波を車窓から恣にすることが出來るわけである。

高知縣神賀橋の竣工

高知縣香美郡物部川の上流在所村野々口から對岸同村猪野々に渡る橋梁神賀橋は延長八十米内鈎橋六十六米橋桁十四米幅員二米水面よりの高八米にて總工費四千五百圓を以て本年二月起工し今回竣工したる以て盛大なる落成式が五月十二日に於て擧行せられた。

九州地方

熊本縣觀光道路の工事進捗

熊本縣阿蘇郡高森町から大分縣久住山麓に通ずる阿蘇國立公園の觀光道路は熊本縣地域内は目下高森町字村山から色見村大字上包字大村の附近まで工事中であるが、昨年度の旱魃被害救濟資金の下渡しがあつたので同字洗川まで延長することになり目下實測中で、本月中旬ころから着工するはず、九年度第二區工事の中で高森と色見との境界に大峽谷があるので、これはモダンなコンクリート橋を架設中である。これで九年度工事は本年八月一杯に竣成し十年度は南郷及外輪山を縫うて波野平原に出で、一擧に豊肥線波野驛を經、大分縣地域に入るので、これが完成次第、省營バスの運轉が開始され觀光ドライヴ・ウエイとして國立公園施設の一役を勤むることとなるわけである

球磨川架橋の竣工

熊本縣下人吉町富田勝平氏が私財二萬六千圓を投じて昨年八月起工した球磨郡西瀬村球磨瀬村球磨川橋は此程落成したので六月五、六日其落成式を擧行した。

宮崎縣宮崎市内の鋪裝工事

今秋の大演習に備へる爲宮崎市内の鋪裝工事は高千穗通交叉點から神宮參道まで着々擴張工事か進捗し且つ神都のメイン・ストリート橋通り街路樹も植付けられた。

宮崎縣延岡市の大瀬橋架替

延岡市大瀬橋の國營架替は板田橋に引き續きいよ〳〵本年度から施工されることになり十三日土木局長から新橋は幅員十一メートル、延長二百卅メートル、本年度工費十五萬圓の内五萬圓は縣市負擔、架替の位置は近日中に公示の旨市宛に指示があつたが、これにより木造でしかも四十年近くを經過し腐朽甚だしく危險に瀕し、且つ市の體裁を害してゐた延岡の四橋が一擧に全部コンクリート造りの堂々たるものにかはり水郷としてまた工業都市としての面目を一新することになつた。

朝鮮地方

慶南の土木事業基礎調査

慶南道では主要幹支線道路網の完成促進小漁港の修築浚渫、上下水道工事、市區改正などの大小土木事業を昭和十一年度から十ケ年乃至十五ケ年の繼續事業として實施すべく基礎的調査研究を進めてゐたが、大體總工費三千萬圓を要することが判つた、當局では道財政を考慮して可及的に之が實現につとめる方針であるが、事業計畫案の内容は次の通り

一、二、三等道路改修改良工事五百六十萬圓▲主要幹支線道路嵩上工事(浸水地)百六十萬圓▲災害地復舊土木工事五十萬圓▲道路鋪裝工事百三十五萬圓▲農山漁村振興などほか道路改修三百二十萬圓▲小漁港修築浚渫工事六十六萬圓▲市區改正工事一千百萬圓▲上水道工事七十萬圓▲下水道改修工事百十五萬圓その他指導事業費五十萬圓で六月早々着工するはず